

# 令和4年度 島根県学力調査結果及び分析（松江市立八雲小学校）

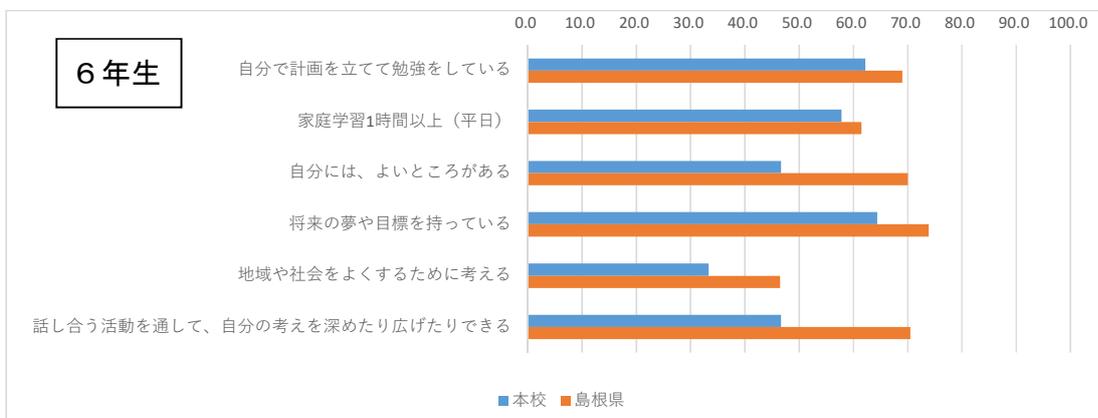
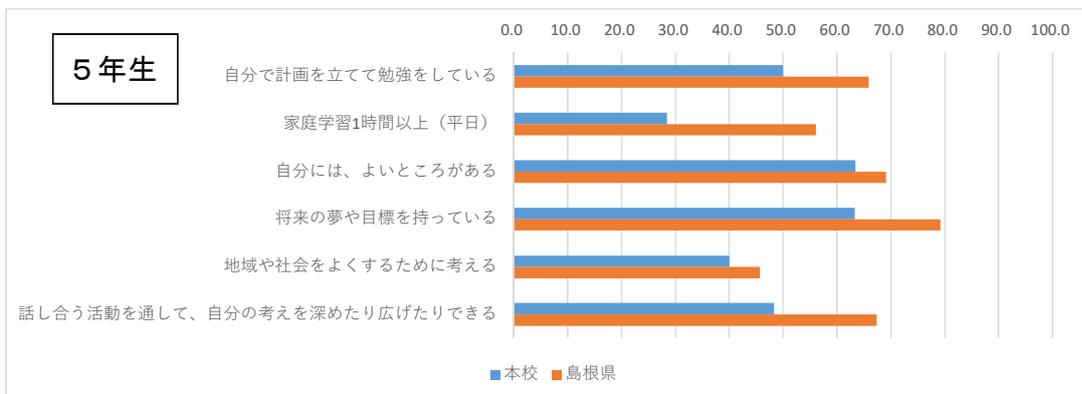
## (1) 学力調査結果から見られた成果と課題（○：成果 ●：課題）

5年国語	<p>○漢字の読みについては、おおむね理解できている。</p> <p>●反面、漢字を正しく書くことや、文脈の中で正しく漢字を使うことについては、正答率がかなり低い。</p> <p>●特に文章を書く問題の正答率が低く、無回答の児童が3割を超えた設問もある。「指定された長さで」「自分の意見を明確にして」文章を書くことに大きな課題がある。</p>	6年国語	<p>○漢字の読みや文脈に沿った漢字をつかうことについては、おおむね理解できている。</p> <p>●説明文の内容を読み取り、文章内の情報を整理することについては、正答率がかなり低い。</p> <p>●5年生同様に、文章を書く問題の正答率が低い。特に「指定された長さで」書くことや「予想される反論とそれに対する意見を」書くことに課題がある。</p>
5年算数	<p>○小数を分数に直す問題は、おおむね理解している。</p> <p>●全体的に正答率が低い。特に倍数や約数に関する問題や、小数の乗法・除法の基本的な計算に関する問題など、基礎的な計算力を十分に身に付けていない児童の割合が多く、大きな課題である。</p> <p>●問題が後半になるにつれ、無解答率が高くなる。制限時間内に十分考えて解答できていない実態がうかがえる。</p>	6年算数	<p>○無解答率はそれほど高くない。粘り強く問題に取り組んだ児童が多くいたことがうかがえる。</p> <p>●分数の乗法・除法に関する問題の正答率が低い。特に、約分や通分を必要とする計算の正答率は、県平均を大きく下回っている。</p> <p>●等しい比について求める問題や、比の値について考える問題の正答率が非常に低い。</p>

## (2) 生活意識調査から見られた成果と課題（○：成果 ●：課題）

5年	<p>○「学校での出来事を家の人に話す」「自分が住んでいる地域が好きである」といった項目において、肯定的に回答した割合が高い。</p> <p>●全体的に肯定的な回答の割合が低い。特に、睡眠時間が8時間以下の児童が全体の半数を超えていたり、朝食をきちんと食べていない子どもが全体の2割近くいたり、基本的な生活習慣に関する内容に課題がみられる。</p>	6年	<p>○調査項目全体としては肯定的に回答した割合の高いものが多い。特に、起床時間や自分の持ち物の管理など、基本的な生活習慣に関する項目で顕著である。</p> <p>●「自分にはよいところがある」「自分は友達から認められている」といった項目において、肯定的回答の割合がかなり低く、課題の1つとしてあげられる。</p>
----	--	----	---

## (3) 意識調査（教育委員会として注目している項目のうち、全国学力・学習状況調査と同様の質問項目を挙げています）



【受検者数】 5年生 64名 6年生 49名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。